

---

# 2025 年度事業報告書

特定非営利活動法人 西日本がん研究機構 (WJOG)

---

## I. 事業期間

2025 年 4 月 1 日 ~ 2026 年 3 月 31 日

---

## II. 事業の成果

### 1. 臨床試験の実施および運営

2025 年度は、呼吸器、消化器、乳腺および希少がん（バスケット）各委員会を中心に、複数の臨床試験を実施した。

- 分子標的治療、免疫療法、リアルワールドデータ解析など、先端的研究を推進
- 第 III 相試験を含む多様な試験デザインを実施
- AMED 採択試験や医師主導治験、TR も継続

表 1 実施中の臨床試験数

		登録中	追跡中	解析中	(うち新規試験)	計画中
呼吸器	臨床研究	9	6		3	15
	付随研究			6		
	データ2次利用			5		
消化器	臨床研究	2	5		2	6
	付随研究			2		
	データ2次利用			1		
乳腺	臨床研究	3		1		3
バスケット	臨床研究		2			9
	付随研究			2		
計		14	13	17	5	33

また、データセンターを中心に、症例登録、データ管理、モニタリングおよび解析の各機能を運用し、試験の品質確保と円滑な実施体制の維持に努めた。

## 2. 臨床試験の成果公表

2025年度は、論文公表および学会発表を通じて、臨床試験の成果を国内外に発信した。

- Journal of Clinical Oncology、Lancet Oncology、Nature Communications 等の主要国際誌に論文掲載
- ASCO、ESMO、JSMO 等の国際・国内主要学会で多数の発表

表 2 2025 年度の論文数

	論文数	主要国際学術誌
呼吸器	6	Lancet Oncology Nature Communications
消化器	9	Journal of Clinical Oncology
乳腺	2	

これらの取組により、研究成果の公表と臨床現場への情報還元を継続して実施した。

---

### 3. 教育・広報事業

市民および医療従事者を対象として、教育機会の提供と情報発信を継続して実施した。

#### (1) 市民向け活動

- 市民公開講座（2025年11月30日、大阪）
  - 参加：現地73名、配信61名
- Webセミナー等の継続実施
- SNS・Webを用いた情報発信強化

#### (2) 医療従事者向け教育

- 多職種連携研修（胃がん・食道がん等）
  - SDM（shared decision making）研修・両立支援研修
- 

### 4. 研究者育成

若手研究者の育成を目的として、以下の取組を実施した。

- Boot Camp（2025年8月）による若手医師育成
  - 若手組織（WING、FLAG、BRIGHT）による活動
  - 学会発表支援、教育セミナー
  - 書籍出版
- 

### 5. 研究基盤の整備

- バイオバンク事業：新規検体収集・保管継続
  - Translational Research の推進
  - データセンターによる中央管理体制強化
-

## 6. 社会連携・患者参画

- 患者参画（PPI）推進のためのワーキンググループ設置
  - 患者会との連携強化
  - 医療プラットフォーム企業（HOKUTO、Antaa 等）との連携
- 

## Ⅲ. 事業の実施状況

### 1. 臨床試験実施体制

本事業は、以下の委員会および組織の体制の下で実施した。

- 呼吸器委員会
  - 消化器委員会
  - 乳腺委員会
  - バスケット委員会
  - 放射線治療委員会
  - TR/BB 委員会
  - プロトコル評価委員会
  - 効果安全性評価委員会
  - 倫理委員会
  - 施設監査委員会
  - COI 管理委員会
  - WJOG データセンター
- 

### 2. 会議体の運営状況

#### (1) 理事会

2025 年度は、理事会を 4 回開催した（2025 年 5 月、11 月、2026 年 2 月ほか）。

主な審議事項：

- 事業計画・予算承認

- 臨床研究の承認
- 規程改訂
- 委員選任

## (2) 常任理事会

常任理事会は、Web 形式により年間 12 回開催した。

主な審議事項：

- 臨床研究承認・進捗管理
  - 助成金申請
  - 業務提携
  - PPI 推進
- 

## 3. 委員会活動

### (1) 研究関連委員会

- 各臨床試験の企画・運営
- プロトコル評価（複数試験評価）
- 安全性評価・改訂審査

### (2) 教育広報委員会

- 月 1 回開催
- SNS 運用、広報戦略
- 患者連携・教育プログラム実施

### (3) 施設監査

- 2025 年度：3 施設監査実施
- 重大な問題なし

### (4) COI 管理

- 個人・組織 COI の適切な管理および公開
-

#### 4. 会議・研修等の開催状況

- アドバイザー会議（各委員会、年間 12 回 + 臨時）
  - ブーストアップ・キックオフ等会議（多数）
  - 教育セミナー・多職種研修
- 

### IV. 総括

2025 年度は、臨床試験の推進、研究成果の発信、教育・広報活動、人材育成および社会連携の各面において、事業計画に沿って事業を実施した。

主な実施内容は、以下のとおりである。

- 国際的に評価される研究成果の創出
- 若手研究者育成体制の強化
- 患者参画の推進
- データ・バイオリソース基盤の整備

これらの取組を通じて、研究実施体制、人材育成、患者参画および研究基盤整備を継続して推進した。

その結果、当法人の臨床研究基盤および社会連携に係る取組を継続的に実施した。

---